


利用者内部研修報告会

研修実施者	職業指導員 岡本太
所 属	株式会社ネオネット
研修名	病院清掃マニュアルに基づいた清掃基礎研修
日 時	令和 5年12月29日 (金) 14時30分～15時15分
場所	ひまわり 作業所内
参加利用者 17名	平* 小* 高* 由* 比* 井* 澤* 田*
	松* 小* 竹* 北* 津* 山* 塚*
研修目的	施設外作業を行うに当たって、病院清掃の安全で正しい清掃方法を学び、他施設でも通用する清掃員としての自信と自覚を養ってもらうため
研修資料	(社)ビルメンテナンス協会発行：医療機関におけるトイレ清掃マニュアル
研修内容	<p>現在、利用者さんに行ってもらっている訓練としての「施設外作業＝清掃」は、マニュアルが存在し、ひまわり独自でも施設毎の清掃方法でもなく、全国共通のルール及びマニュアルに基づいて清掃作業を行ってもらっているという事を認識してもらうため。</p> <p>言い換えれば、今、利用者さんが行っている清掃は、全国どこにでも通用し、他の施設で作業に就いてもすぐに応用が出来る訓練しているという認識を持ってもらいたい。</p> <p>プロとして清掃作業に携わり、将来的に一般就労への可能性を広げている。 正しい知識を得て、正しいマニュアルに従うことが、社会のルールとして重要であり、自己本位の考え方や、利己主義的な利便性に惑わされる事のないように、正式な知識とルールを守る大切さを学んでもらう。</p>
マニュアルの意義と理解	<p>何故、マニュアルが必要なのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業において最も大切な事は、安全である。 作業においての様々な危険を知識として全て習得は困難である。 その危険を回避または対応できる様にマニュアルが存在している。 マニュアルに沿った作業にて、作業事故もなくす。 ・ 作業手順は最も効率的にできる様に組み立ててある事を知る。 マニュアルがある事で、全員が同じ作業が出来て、同じ作業指導が受けられる。 ・ マニュアルに従った作業が最もクオリティを高く仕上げる事が出来る。 清掃ミスがなくなる。 ・ 薬品や医薬部外品を含め、危険物の扱いも必要となり、使用間違いによる事故をなくす。 安易な取扱いによって事故を起こさないために危険物の認識を高める。
研修成果及び今後への活かし方	<p>最も成果があった事は、利用者全員が驚いていた。 清掃マニュアルが存在し、その全国共通マニュアルに基づいて自分達が作業を行っている事に安心感が広がった。 自分の行っている訓練は、独自性そのもので、各施設毎にやり方やルールが存在し、その都度しか通用しないと思っていたとの事。 作業の技術やバリエーションを習得したいという意欲やモチベーションも高まり、一生懸命作業をする事で身に着ける意義も理解できた様です。 今後も、マニュアルの内容と意義を説明しながら、作業に臨んでもらいたいとスタッフも認識できました。</p>

管理者	サービス管理者
櫻井	櫻井

5社合同施設外研修報告

研修報告者	近藤貴彦	
所 属	株式会社ネオネット	
研修名	5社合同施設外研修：N大学構内合同視察、清掃作業体験及び意見交換会	
日 時	令和6年3月15日（ 金 ） 9時00分～12時30分	
場 所	事業所ひまわり 施設外作業先：N大学構内	
参加施設	①アイル植田 A型 ②リボンワークス 就労移行・B型 ③ハートジョブ A型 ④ネクストステージ赤池 A型	
目的	ひまわりの施設外作業を研修・実地指導の内容を視察後、意見や感想をいただくことでより良い利用者さんとの関り方や、有り様を見直し、スタッフ指導や改善につなげたい。合同で作業を行っているA型施設の「アイル植田」を交えて、今後の就労系福祉事業所の生き残りを見据えた意見交換をお願いしたい。	
研修・視察のご意見・感想	参加施設名 ネクストステージ赤池 朝礼ミーティング～清掃体験まで、貴重な実体験ができました。清掃作業といっても様々な作業があること、それぞれの作業をチーム化し、役割分担して無駄のない作業を進めていく、そこに、責任感と達成感、さらにチームの一体感が生まれる。そして、健康維持にも繋がっていく、その体制作りに驚きました。何より、利用者さんたちの顔が生き生きとし、自信をもって作業に取り組んでいる姿に感銘を受けました。意見交換会では、就労系福祉事業所の課題が、より一層明確化され、当事業所の欠点、弱点を改めて実感致しました。また、本日参加された、事業所様とも、チームとして動けるようになれるよう、「清掃のプロ集団である」これが、事業所ひまわり様のゆるがない指針であること。その揺るがない指針が、ネクストステージ赤池の一番欠けているところであり、目指さなければならぬところと痛感し、当事業所を再構築する上で、最重要視していきます。当事業所自身、生き残るすべをあらゆる角度から見直しています。貴重な体験、懇親会をありがとうございました。	
ひまわり 研修成果及び今後の支援への活かし方	今回の研修にて、作業とどう向き合うかという認識において、他施設様との違いは感じた。ひまわりでは、個々ではなく、コミュニケーションによって、チームで作業能力を補い合うスタイルで、健常者の方たちと遜色なく作業をこなす事を目指している。他社様の利用者さんと比較しても、ひまわりの利用者さんにレベル的な違いがあるとは思っていない。ただ、組織的に動ける様になっている利用者さん達を見て、他施設の方々から別格と思われた事は、頑張ってくれる利用者さんが誇らしいと思えた。また、利用者さんと構築している組織が、チーム全体の作業能力やスタッフの統率力を引き上げる効果があることを実感できたのは、最大の収穫であり、自信にもなった。改めて、「あいさつ」「礼儀」をモットーとしたひまわりの指導や支援スタイルの方向性を固める事が出来た。今後の課題として内職作業の脆弱性を問題として、他のA型とコラボレーションによる規模拡大。作業受注の太いパイプ作りを早急に確立したい。	

サービス管
理責任者

櫻井